

女神大橋

Megami Bridge

女神大橋は、長崎港によって分かれている長崎市の南部と西部を結ぶ橋として、平成 17 年 12 月に完成しました。
橋の完成により、移動時間の大幅な短縮や周辺道路の渋滞緩和が図られ、地域全体の物流や産業・経済活動に大きな効果をもたらしています。
また、長崎港と調和するランドマークとして水辺の景観を彩り、日本夜景遺産にも登録されています。マラソン大会や体験型観光ツアーなどにも活用され、多くの市民や観光客に親しまれています。

いろいろな女神大橋

女神大橋は長崎を代表する観光シンボルです。
夕焼けと青い空のグラデーション、ライトアップされた真っ白な橋、橋をかすめる大型客船など、女神大橋は様々なシーンで様々な表情を私たちに見せてくれます。






見どころスポット



大浦天主堂
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

大浦天主堂は、幕末の開国にともなって造成された長崎居留地に、在留外国人のために建設された中世ヨーロッパ建築を代表するゴシック調の教会で、現存するものでは国内最古となります。
1933 年に国宝となりましたが、原爆による損傷の修理が完了した後、現存する日本最古の教会建築として 1953 年に再度国宝に指定されました。
また、2018 年にユネスコの世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産のひとつです。



グラバー園（旧グラバー住宅）
明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

大長崎港の大パノラマを見下ろす南山手の丘に位置し、異国情緒あふれる長崎居留の人気観光スポットです。
国指定重要文化財の旧グラバー住宅・旧リンガー住宅・旧オルト住宅をメインに、市内に点在していた 5 つの明治期の洋館を移築し復元しています。居留地時代の面影を残す石畳や石段が、歴史や文化の香りを一層引き立てています。園内各所が花々で彩られており、いつごとく切り取っても飽くなき空間はかりです。
また、日本に現存する最古の木造洋風建築である旧グラバー住宅は、2015 年 7 月に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として登録されました。



ジャイアント・カンチレバークレーン
明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

長崎港の中央にそびえる巨大なクレーン、ジャイアント・カンチレバークレーンは 100 年以上経た今も稼働している現役の施設です。
三菱合資会社時代の 1909 年に導入されたスコットランドのアップルビー社製で、同型では日本に初めて設置されたものです。電気モーターで駆動し大型船用鋼構造の荷重に耐える吊り上げ能力を持っています。
"世界遺産・明治日本の産業革命遺産」を構成する 23 資産のひとつですが、三菱重工業長崎造船所内の施設であり、一般非公開となっています。



端島（軍艦島）
明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

長崎港から船で約 40 分のところに位置する端島（はしま）。小さな海底炭鉱の島は、前埋の周りを埋め立てて造られた人工の島です。鉄筋が露出を覆い、高層鉄筋コンクリートが立ち並ぶその外観が軍艦「土佐」に似ていることから "軍艦島」と呼ばれるようになりました。最盛期の 1960 年には約 5300 人もの人が住み、当時、日本一の人口密度を誇っていました。
2015 年 7 月世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 ー製鉄・製鋼、造船、石炭産業ー」として正式登録されました。